

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 実用新案出願公開
 ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭57-152768

⑫ Int. Cl.^a
H 01 M 2/28

識別記号 廷内整理番号
 2117-5H

⑬ 公開 昭和57年(1982)9月25日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 鉛蓄電池用極板群

⑮ 実 願 昭56-39694

⑯ 出 願 昭56(1981)3月20日

⑰ 考案者 長谷川寿朗

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑱ 考案者 唐沢昭司

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑲ 考案者 安田博

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑳ 考案者 桜井哲夫

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

㉑ 出願人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

㉒ 代理人 弁理士 中尾敏男 外1名

㉓ 実用新案登録請求の範囲

(1) 複数の極板の耳部とセル間接続体、もしくは
極柱とを一体に接続した極板群のストラップに
おいて、前記セル間接続体もしくは極柱に近づ
くにつれて断面積を大きくした鉛部とその鉛部
をとり囲む樹脂部とよりなることを特徴とした
鉛蓄電池用極板群。

(2) 前記ストラップはその断面積が任意の位置よ
りセル間接続体もしくは極柱に違い方向に存在
する極板の枚数に比例する鉛部と、その鉛部を

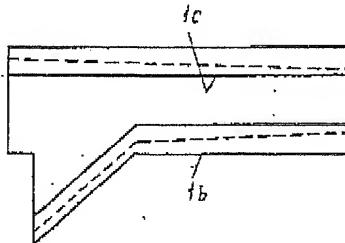
とり囲む樹脂部よりなることを特徴とする実用
新案登録請求の範囲第1項に記載の鉛蓄電池用
極板群。

図面の簡単な説明

第1図は本考案のストラップを用いた陽極板群
の斜視図、第2図はストラップの鉛部をとり囲む
樹脂部の下面図である。

1……ストラップ、1a……ストラップの樹脂
部、1c……開口部、2……セル間接続体、3…
…極板、4……耳部。

第2図



実開 昭57-152768(2)

第1図

